

平成27年度事業報告

神門保育園

1. 概況

平成27年度は、新保育制度がスタートし、保護者の就労時間により、入所児童が標準時間保育と短時間保育に分かれたが、ほぼ、標準時間の入所児童であった。4月103名でスタートし、3月には114名の児童になり、入所率は、平均で121パーセントになった。園舎の移転建設で、7月25日工事着工、順調に工事も進み、2月15日に引き渡しとなり、2月20日には、竣工式を行った。

27日保護者や業者の力も借りて、旧園舎から引っ越しを行った。3月1日より新園舎での保育を始め、広く明るい園舎に園児・保護者・職員共に喜んでいる。

新しい町内の方との関係も大事にしていかななくてはならないので、町内の常会に参加して挨拶をしたが、快く受け入れてもらっている。

当園の保育方針として掲げている実体験を主にした保育やリズム運動についても職員が共通した考えで保育できたことは、とても良かった。園舎建設でいろいろバタバタと落ち着かないことが多かったけれど、園児たちは、そう左右されることもなく、のびのびと生活することが出来たし、年長児については、めざす子ども像として掲げている5つのことは、ほぼ達成できたように思う。他の年令の子どもたちもそれぞれの年令を生ききる保育をするために年令に合った要求、それぞれの子どもに合った要求についても職員会の中で討議し、職員全員で育てていこうと共通認識をした。

河南中学生の職場体験学習の受け入れや小中学生のボランティアの受け入れ、出雲西高校生の保育実習や総合学習での受け入れを実施した。特に、保幼小連携での5年生と年長児との3回の交流は、子どもたちにとって小学校に対して親近感が持てとても良い交流となった。また、神門地区の幼保3園の交流も回を重ねるごとに深まっている。神戸川小学校のボランティア委員会が、3回来園し、0、1、2才児と短時間ではあるが触れ合うことを楽しみに接してくれたことはとても嬉しいことである。

特別保育事業としては、延長保育（月平均6名）、一時保育（延利用数111名）地域活動事業を実施した。

保護者に対しては、講演会（子育てで大切にしたいこと 講師 藤原美保氏）の開催、年2～3回のクラス懇談会、一日保育体験、試食会などを実施して人間の基礎である子育ての大切さを伝えていったが、親自身の生活が優先され、子どもの気持ちをしっかりと受け止めてあげられない家庭もあり、続けて信頼関係を築きつつ、繰り返し伝えていきたいと思う。園舎が新しくなったことを祝って3月の公開保育では、コンサートを親子で聴いてもらった。親子で共感してもらえたことは、とても良かった。

保護者同士の繋がりが希薄になってきているが、交流会や行事等を通して年齢が上がるごとに保護者同士の繋がりがよくなってきていて、特にたなばたまつりの年長の保護者が出し物をしてくださる頃から保護者間の関係も深くなってきている。園からの協力依頼も快く引き受けてくださり、保育を進める上で、とても心強かった。保護者との信頼関係を大事にまた、移転

したことでもあるので、地域との関わりも大切にして、保育していかねばならないと思う。

一方、職員の教育については、第Ⅱ保育園の職員と一緒に本の読み合わせや討議などの園内研修をして、研鑽した。出雲市保育協議会や県保協・保育実践交流会など各種団体の研修にも参加したり、公開保育を開催して、職員の資質向上に努めた。これからも引き続き、計画的に研修をしていきたい。

施設については、園舎移転改築し、2月20日に竣工した。旧園舎は、3月中に解体し、出雲市からの借地は更地にし、返却。第Ⅱ園庭として板倉文子氏からの借地も更地にして返却。旧園舎のあった芦渡町の保育園の土地513.32㎡については、運用財産になる。

2. 定員 90名 入所児童 109名（月平均）

3. 職員数 30名（臨時職、パート職、嘱託医を含む。）

（園長1、主任保育士1、保育士19、看護師1、栄養士1、調理師1、
調理員2、事務員1、嘱託医3）

4. 保育時間 短時間保育時間 8:00～16:00
7:00～8:00 } 延長保育
16:00～19:00 }
標準保育時間 7:00～18:00
18:00～19:00 延長保育

5. 特別保育事業

- ・延長保育事業 1時間延長 月平均 6名
- ・一時保育事業 年間延べ人数 111名
- ・地域活動推進事業 異年令児交流・世代間交流・食育推進
子育て力アップ

6. 地域支援事業

- ・小中高生の保育体験受け入れ
- ・講演会等の案内

7. 保育設備

土地 3328.93㎡（下古志町474、475番地）
513.32㎡（芦渡町824-1、822-15番地）
園舎 鉄骨造瓦葺平屋建て 992㎡

8. 資金について

園舎改築資金は、国庫補助金130,746,000円、市補助金16,343,000円、福祉医療機構からの借入124,600,000円、神門第Ⅱ保育園からの拠点区分間繰入金10,000,000円自己資金7,124,391円で賄った。補助金や福祉医療機構からの借入金の入金があるまでのつなぎ資金を島根中央信用金庫からの借入で賄った。

経常経費は、委託料・補助金・私的利用料収入・雑収入等で賄った。